

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大原情報医療専門学校新潟校
設置者名	学校法人新潟大原学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の 単位数又は授 業時数	省令で定める 基準単位数又 は授業時数	配 置 困 難
商業実務専門 課程	医療ビジネス学 科	夜・ 通信	700 時間	160 時間	
	情報ビジネス学 科	夜・ 通信	630 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>ホームページに掲載 http://www.o-hara-niigata.com →公開情報→実務経験のある教員等による授業科目の一覧（情報医療校）</p>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大原情報医療専門学校新潟校
設置者名	学校法人新潟大原学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページに掲載 http://www.o-hara-niigata.com →公開情報→学校法人新潟大原学園理事名簿

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	学校法人役員	2022. 4. 1 ～ 2026. 3. 31	教育全般
非常勤	株式会社役員	2022. 4. 1 ～ 2026. 3. 31	経営全般
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大原情報医療専門学校新潟校
設置者名	学校法人新潟大原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。		
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)		
1 事業計画の作成過程		
学科ごとに、当年度の教育課程について、授業科目の見直しや各科目の教育内容、授業方法に関して改善や変更の要否を検討し、次年度の事業計画を決定する。		
2 事業計画の作成・公表時期		
(12月)実施された事業計画についての評価(校長・教務部責任者・学科責任者)		
(1月)新年度教科担当者の決定		
(2月)各教科担当者による新年度事業計画案の作成提出		
(3月)新年度事業計画案の確認と決定(校長・教務部責任者・学科責任者)		
毎年上記手続きを経て、事業計画を改善検討し、3月末迄に公表する。		
授業計画書の公表方法	ホームページに掲載 http://www.o-hara-niigata.com →公開情報→医療ビジネス学科(1年次) →医療ビジネス学科(2年次) →情報ビジネス学科(1年次) →情報ビジネス学科(2年次)	
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。		
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)		
成績評価		
学業成績は、原則として授業科目ごとに行う試験によって評価する。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることはできない。		
(1) 学業成績の評価及びその表記は次のとおりとし、成績評価の「秀・優・良・可」を合格、「不可」は不合格とする。		
判定	成績評価	成績評価内容
合格	秀	内容を十分に理解し、極めて優秀な成績を修めている
	優	内容を十分に理解し、応用できる
	良	内容を理解している
	可	内容をほぼ理解している
不合格	不可	内容を理解していない
(2) 不合格の科目については、特別試験を行い、基準点に達した場合に合格とする。		
(3) 授業科目を履修し、各科目の成績判定で「秀・優・良・可」を取得した者には、所定の単位を与える。		

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
1 GPA 制度	
授業科目の成績評価に対して点数(Grade Point)を与え、その点数の合計を履修登録した総科目数で割って算出した平均値で示す。	
2 成績評価の点数 (GP) は、以下のとおりとする。	
成績評価	GP
秀	4
優	3
良	2
可	1
不可	0
3 GPA 算出方法	
GPA=(科目 GP)の合計／履修登録科目の合計	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページに掲載 http://www.o-hara-niigata.com→公開情報→大原情報医療専門学校成績評価基準
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)	
1 卒業認定に関する方針の具体的な内容	
卒業基準	
(1) 各課程・学科に修業年限在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の卒業に必要な授業科目及び単位数を修得した者は卒業できる。	
(2) 次の検定試験等で一定の基準を満たしていない者は、追試験などを受けなければ卒業できない。	
検 定 試 験 等	
・漢字 1 級	
・電卓 1 級	
・医療 1 級 (医療事務学科に限る。)	
(3) 欠席累計が 100 日 (休学日数を含む) に達した者は、卒業できない。	
2 卒業の認定に関する方針の適切な実施状況	
卒業審査 (校長・教務部責任者・学科責任者) において、卒業基準を総合的に判断して卒業の認否を決定する。	
また、卒業を認定した者に対して校長は卒業証書を授与する。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページに掲載http://www.o-hara-niigata.com→公開情報→大原情報医療専門学校成績評価基準

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大原情報医療専門学校新潟校
設置者名	学校法人新潟大原学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.o-hara-niigata.com →公開情報→決算報告（事業報告書）
収支計算書又は損益計算書	http://www.o-hara-niigata.com →公開情報→決算報告（事業報告書）
財産目録	http://www.o-hara-niigata.com →公開情報→決算報告（事業報告書）
事業報告書	http://www.o-hara-niigata.com →公開情報→決算報告（事業報告書）
監事による監査報告（書）	http://www.o-hara-niigata.com →公開情報→決算報告（事業報告書）

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程	医療ビジネス学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	1,830 単位時間	1 6 4 0 単位時間	6 0 単位時間	1 6 0 単位時間	0 単位時間	5 4 0 単位時間	
			2,400 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
60 人		49 人	0 人	3 人	1 人		4 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）		
<p>（概要）</p> <p>毎年授業科目の見直しや各科目の教育内容、授業方法に関して改善や変更の要否を検討し、次年度の事業計画を決定する。</p> <p>授業計画には、授業内容、スケジュール、到達目標、成績評価方法等を記載し、3月末までに公表する。</p>		
成績評価の基準・方法		
<p>（概要）</p> <p>成績評価</p> <p>学業成績は、原則として授業科目ごとに行う試験によって評価する。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることはできない。</p> <p>(1) 学業成績の評価及びその表記は次のとおりとし、成績評価の「秀・優・良・可」を合格、「不可」は不合格とする。</p>		
判定	成績評価	成績評価内容
合格	秀	内容を十分に理解し、極めて優秀な成績を修めている
	優	内容を十分に理解し、応用できる
	良	内容を理解している

	可	内容をほぼ理解している
不合格	不可	内容を理解していない

(2) 不合格の科目については、特別試験を行い、基準点に達した場合に合格とする。

(3) 授業科目を履修し、各科目の成績判定で「秀・優・良・可」を取得した者には所定の単位を与える。

卒業・進級の認定基準

(概要)

1 卒業の認定基準

(1) 修業年限在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、卒業に必要な授業科目及び単位数を修得した者は卒業できる。

(2) 次の検定試験等で一定の基準を満たしていない者は、追試験などを受けなければ卒業できない。

検 定 試 験 等
・ 漢字 1 級
・ 電卓 1 級

(3) 欠席累計が 100 日（休学日数を含む）に達した者は、卒業できない。

2 進級の認定基準

(1) 所定の授業科目の履修を積み重ね、進級に必要な授業科目及び単位数を修得したと認められた者は、進級できる。

(2) 次の検定試験等で一定の基準を満たしていない者は、追試験などを受けなければ進級できない。

検 定 試 験 等
・ 医療 2 級
・ 電卓 2 級

(3) 欠席累計が 60 日以上（休学日数を含む）の者は、面接を受けなければ進級できない。

学修支援等

(概要)

クラス担任制により、習熟度・理解度が滞っている生徒に対して個別面談を実施し、各種助言・指導を行う。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)	20 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)
(主な就職、業界等)			
医療業（病院、一般診療所）			
(就職指導内容)			
入学時から就職先決定まで就職サポートスケジュールに沿って進め、自己分析・履歴書作成・面接指導の他、上級生の就職活動報告会、職種別セミナーなどを行う。			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
医療 2 級、漢字 1 級、電卓 1 級			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45 人	0 人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制を敷き、学習意欲の低減を防ぐなどきめ細かく対応している。 退学につながる予兆の早期発見のため、常に出欠状況を管理し、個別面談、保護者との連絡を密に対応する。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程	情報ビジネス学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,830 単位時間	1620 単位時間	130 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	420 単位時間
			2,170 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数
40 人		9 人	0 人	3 人	1 人		4 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）		
(概要) 毎年授業科目の見直しや各科目の教育内容、授業方法に関して改善や変更の要否を検討し、次年度の事業計画を決定する。 授業計画には、授業内容、スケジュール、到達目標、成績評価方法等を記載し、3月末までに公表する。		
成績評価の基準・方法		
(概要) 成績評価 学業成績は、原則として授業科目ごとに行う試験によって評価する。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることはできない。 (1) 学業成績の評価及びその表記は次のとおりとし、成績評価の「秀・優・良・可」を合格、「不可」は不合格とする。		
判 定	成績評価	成 績 評 価 内 容
合 格	秀	内容を十分に理解し、極めて優秀な成績を修めている
	優	内容を十分に理解し、応用できる
	良	内容を理解している
	可	内容をほぼ理解している
不合格	不可	内容を理解していない
(1) 不合格の科目については、特別試験を行い、基準点に達した場合に合格とする。 (3) 授業科目を履修し、各科目の成績判定で「秀・優・良・可」を取得した者には所定の単位を与える。		
卒業・進級の認定基準		

(概要)			
1 卒業の認定基準			
(1) 修業年限在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、卒業に必要な授業科目及び単位数を修得した者は卒業できる。			
(2) 次の検定試験等で一定の基準を満たしていない者は、追試験などを受けなければ卒業できない。			
<table><tr><td>検 定 試 験 等</td></tr><tr><td>・ 漢字 1 級 ・ 電卓 1 級</td></tr></table>		検 定 試 験 等	・ 漢字 1 級 ・ 電卓 1 級
検 定 試 験 等			
・ 漢字 1 級 ・ 電卓 1 級			
(3) 欠席累計が 100 日（休学日数を含む）に達した者は、卒業できない。			
2 進級の認定基準			
(1) 所定の授業科目の履修を積み重ね、進級に必要な授業科目及び単位数を修得したと認められた者は、進級できる。			
(2) 次の検定試験等で一定の基準を満たしていない者は、追試験などを受けなければ進級できない。			
<table><tr><td>検 定 試 験 等</td></tr><tr><td>・ 簿記 3 級 ・ 電卓 2 級</td></tr></table>		検 定 試 験 等	・ 簿記 3 級 ・ 電卓 2 級
検 定 試 験 等			
・ 簿記 3 級 ・ 電卓 2 級			
(3) 欠席累計が 60 日以上（休学日数を含む）の者は、面接を受けなければ進級できない。			
学修支援等			
(概要)			
クラス担任制により、習熟度・理解度が滞っている生徒に対して個別面談を実施し、各種助言・指導を行う。			

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3 人 （ 100.0%）	0 人 （ 0.0%）	3 人 （ 100.0%）	0 人 （ 0.0%）
(主な就職、業界等)			
情報処理業			
(就職指導内容)			
入学時から就職先決定まで就職サポートスケジュールに沿って進め、自己分析・履歴書作成・面接指導の他、上級生の就職活動報告会、職種別セミナーなどを行う。			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
漢字 1 級、電卓 1 級、簿記 3 級			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6 人	0 人	0.0%

(中途退学の主な理由)
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制を敷き、学習意欲の低減を防ぐなどきめ細かく対応する。 退学につながる予兆の早期発見のため、常に出欠状況を管理し、個別面談、保護者との連絡を密に対応する。

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
医療ビジネス学科	160,000 円	870,000 円	200,000 円	教材費・維持費
情報ビジネス学科	160,000 円	870,000 円	200,000 円	教材費・維持費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.o-hara-niigata.com →公開情報→自己評価総括表 (情報医療校)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>学校関係者評価委員会は学外有識者の委員で構成され、本学園設置校卒業生(1人)、保護者経験者(1人)、経済・産業界など(3人)、本校と直接関係のある者から、本校に対して建設的かつ専門的助言を行うことができると認められる有識者を委員として選任している。</p> <p>自己評価をベースにした学校関係者評価を行い、この評価結果をHPで公表することにより、学校法人の責務として、情報公開を推進し、社会に開かれた専門学校を目指す。</p> <p>このため、自己評価結果の公表及び学校関係者評価の公表を行い、今後の学校運営の改善を図っていく方針である。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
会社役員	令和6年6月1日～ 令和7年5月31日	企業等委員
元会社役員	令和6年6月1日～ 令和7年5月31日	企業等委員
町内会(花園1丁目)役員	令和6年6月1日～ 令和7年5月31日	地元自治会委員
会社員	令和6年6月1日～ 令和7年5月31日	卒業生委員
会社員	令和6年6月1日～ 令和7年5月31日	卒業生保護者委員
学校関係者評価結果の公表方法		

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p>http://www.o-hara-niigata.com→公開情報→学校評価報告書（令和6年度）</p>
<p>第三者による学校評価（任意記載事項）</p>

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p>http://www.o-hara-niigata.com→公開情報</p>
--